



# 沖縄国際大学 FD 通信

発行者：沖縄国際大学 教務部長（2011年7月7日）

## 1. 研修会「シラバスの在るべき姿を考える」を開催

「FD支援プログラム」では、2011年度の指定プロジェクトとして「シラバスの実質化：利用価値向上と負担軽減の両立をめざして」をテーマとして取り上げました。

3つのテーマ（「理想を知る」「現実を知る」「活用を知る」）について検討を重ね、「誰にとっても利用価値の高い、シラバスの『沖国大モデル』を構築する」という目標に向けて活動を行っています。

そのプロジェクトの一環で、長らく大学教育改革に携わった経験を有する方を招いて、6月17日(金)に2011年度第1回FD研修会(通算第4回)を開催しました。

この研修では、立命館大学から青山佳世氏(教育開発推進機構事務局・教育開発支援課)をお招きして、立命館大学の事例に基づくシラバス制度運営実態と問題点について報告いただきました。

研修内容は、次のとおりです。

### ①事例報告

青山 佳世 氏(立命館大学教育開発支援課、教育開発推進機構事務局)  
「事例に基づくシラバス制度運営実態と問題点」

### ②質疑応答

研修では、「非常勤教員に対するシラバス作成の動機付け」、「学生を主語にしたシラバス作成」、「学生が何度も読み返すシラバスにするためには」、「カリキュラム・マップ作成の有効性」などの課題が共有される場となりました。

なお、シラバスをテーマにした研修は、10月にも開催を予定していますので、多くの方々の参加をお待ちしています。



！安岡高志先生の「シラバス “そもそも論”」は、10月頃に講演を行う予定です！

## 2. 研修会「学科別「3つのポリシー」策定に向けて」を開催

6月24日(金)に、「学科別「3つのポリシー」策定に向けて―「学士課程答申」との関連で―」というテーマで、「学士課程答申」に関する理解を深め、学科別「3つのポリシー」策定に際しての観点や注意事項を学ぶことを目的に、2011年度第2回FD研修会(通算第5回)を開催しました。

神戸大学から川嶋 太津夫 氏(大学教育推進機構/大学院国際協力研究科・教授)をお招きして、3つのポリシーを策定する意義、学習成果の考え方、「もう一つのAP」(アセスメント・ポリシー)などについて講演いただきました。

2008年に出された「学士課程答申」では、各大学に対して、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、それを実現するための教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)、さらに前提となる入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の策定が求められました。

本学でも、2010年度制定された大学の使命・教育目標に基づき、大学全体としての「3つのポリシー」を策定していますが、本学において学位授与を認定する主体は学部であり、その前提となる教育課程は学科・専攻を基準に編成されています。そのため、本学では年内に学科別の3つのポリシーを策定する予定です。

また、「学士課程答申」では、学生の学修成果を重視し、教育課程の系統性や順次性の確立が求められており、「3つのポリシー」を策定する際にも看過することはできないため、その辺りの内容も川嶋先生に触れて頂きました。

今回の研修に参加された教職員の声です。

- ・教育者として、普段見落としているところに気づかされた。
- ・3つのポリシーの意味と意義、今の大学に必要な事がよくわかった。
- ・ジュネリックスキルズを授業科目の中で、どう示し、どう評価して行くのかという点についてモヤモヤしていた事がスッキリした。
- ・大学全体の3つのポリシーから、いかに学科ごとのポリシーを作成したらよいかイメージが作れた。
- ・教員の希望するシラバスを学生に強いる事は避けないといけないが、学生の現段階とシラバス(教員の希望)との差をどのように捉え、改善するかを示唆してもらえた。
- ・(カリキュラムは)単体科目ではなく学生情報の共有と総合体で組み立てるべきだと分かった。
- ・結果が測定しづらいFDについて明確に述べられていた為、非常にわかりやすかった。



! 各学科のポリシー作成担当者みなさま。大変ですが頑張ってください!